

2024年度 第2回わくわくダイバーシティ委員会 LGBT セミナー開催

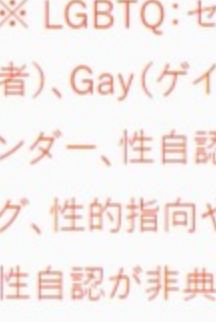
SGホールディングス

★ お気に入り

DE&I | ダイバーシティ

9月12日(木)に、「第2回わくわくダイバーシティ委員会」が開催され、約200人の当社グループ従業員がリモートで参加しました。

SGHグループでは、2024年度からは『公平性』という観点から、これまでの施策を生かして周知・浸透をより念頭に置き、多くの従業員を巻き込み、グループ全体で一緒になってDE&Iの実現を目指します



みらいさん

第2回わくわくダイバーシティ委員会は「LGBT※を知ろう」をテーマに、LGBTセミナーを行いました！

※ LGBTQ:セクシュアルマイノリティの表記方法。LGBTQとは、Lesbian(レズビアン、女性の同性愛者)、Gay(ゲイ、男性の同性愛者)、Bisexual(バイセクシュアル、両性愛者)、Transgender(トランスジェンダー、性自認が出生時に割り当てられた性別とは異なる人)、QuestioningやQueer(クエスチョニング、性的指向や性自認が定まっていな、揺れ動いている人、決めたくないという人/クィア、性的指向や性自認が非典型な人全般)の頭文字をとった言葉で、性的マイノリティ(性的少数者)を表す総称のひとつ。SGHグループでは、Qの意味も含めて「LGBT」として表記。

会議冒頭で、SGホールディングス 人事部 担当部長 髙川さんよりあいさつがあり、今年度のSGHグループのDE&Iの取り組みに関する方向性について説明されました。

| SGHグループのDE&Iの方向性 | 2024年度～ | 2023年度 |
|------------------|--|--|
| 多様な人材の活用促進 | 多様な人材の活用促進 多様な人材の活用促進 多様な人材の活用促進 | 多様な人材の活用促進 多様な人材の活用促進 多様な人材の活用促進 |
| 多様な人材の活用促進 | 多様な人材の活用促進 多様な人材の活用促進 多様な人材の活用促進 | 多様な人材の活用促進 多様な人材の活用促進 多様な人材の活用促進 |

本日のセミナーを通じて、皆様で得て頂きたいこと

①LGBTの基礎知識
○セミナー参加が初めての方 → 専門的な情報や気づきを得る
○何度もセミナーに参加されている方 → 「分かっている・理解している」は、一層深くして頂く事で、自身の行動に少しづつ変化を齎す。

②他者の考え方や意見を聞き取り入れる
本日は、企業社会の：年齢、性別、年齢、異なるメンバーが働く機会を、ディスカッションを行います。いつもと異なるメンバーの意見を多く聞く事で、自分の成長が促されます。自分の成長が促されます。他者の意見に耳を傾けること！こんな時間にして頂きたい。

これまで、少数派への配慮をメインにD&I推進を行っていましたが、今年度より多数派への浸透と個々に合わせた働き方として、「平等」から「公平」に機会を提供し、少数派・多数派に関わらず、誰もが活躍できる組織を作っていくことを目的に、「多様性」「公平性」「包括性」の観点から、DE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)と名前を変えて取り組みを行っています。

髙川さんは今回のLGBTセミナーにおいて、

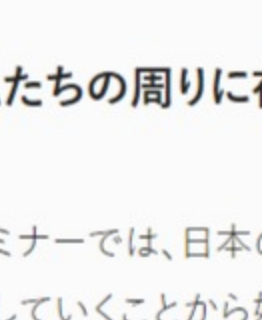
1. LGBTの基礎知識を学ぶこと
2. 立場の異なるさまざまな人々とディスカッションし、自分の言葉で発し、他者の意見に耳を傾けること

の2つの観点から学びを得ていただきたいと思います。



つなくん

● アウト・ジャパン様によるセミナー「LGBTを知ろう ～最新のニュースや相談事例など～」



講師

株式会社アウト・ジャパン
代表取締役
屋成 和昭(やなり かずあき)さん



ゲスト

如月 ららさん

<プロフィール>
1965年北海道出身
男性として生まれ、25歳のときに女性と結婚。2021年頃から女性として生きていきたいという気持ちが膨らみ、妻に告白。時間をかけ理解を得る。

私たちの周りに存在する当事者と社会問題からLGBTについて考える

セミナーでは、日本のLGBT人口の割合(10人に1人)と、私たちの身近にLGBTの方々がいることを認識していくことから始まり、LGBTの基礎知識についてあらためて学びました。また、ゲストの如月ららさん(以下:ららさん)にお話しを伺いながら、LGBTの方々と接する際の対応や、LGBTの方々を取り巻く社会問題などについてグループディスカッションを実施。屋成さん、ららさん、参加者の方々からのさまざまな意見の中から、抜粋して紹介します。

<各議題とディスカッションで出たさまざまな意見>

日本全体の10%を占めるLGBTの方に対して、「まだ会ったことがない」人が多い状況はなぜなのか？



日本のLGBT人口の割合は、血液型のAB型や左利きの方が人口と同じくらい。日本全体の10%だとたくさんの方が出てくるはずなのに、「LGBTの方に会ったことがない」「身近にいない」という人が多い理由を考えてみてほしい。

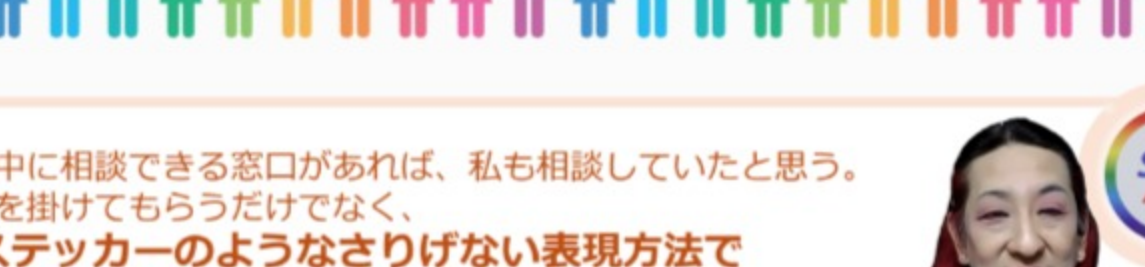
屋成さん

うちの10人のスタッフのうちの1人が(割合的に)そんなのかなと思うと想像つかない。

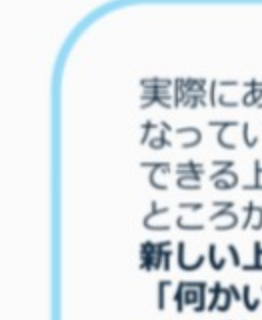
周りにいるLGBTの方があえて伝える必要がないと判断しているから、こちらが認知していないのではないかと？

日本ではLGBTに関する理解が成熟されていないのではないかと？

参加者



どのような対応や声掛けがうれしかった？



会社の中にLGBTであることを伏せている方や、カミングアウトを考えている方がいることを想定して、**当事者がどのような声掛けや対応をされたらうれしいと思うかを考えてみてほしい。**

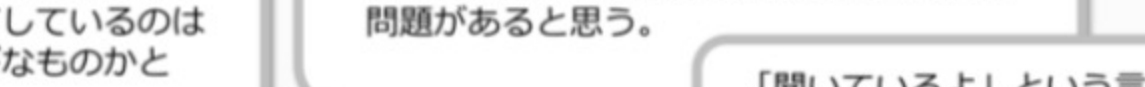
屋成さん

まず、こちらから声を掛けるというより、当事者から話してもらいやすい環境や仕組みづくりを周知していくことが大事だと思う。

カミングアウトを受けたときに、「辛かったよね」とか言ってしまうけれど、勝手に「辛かった」と決めつけられないほうが良い気がする。

カミングアウトした場合、会社に対して今後どんな対応してほしいかを聞いてみたい。

参加者

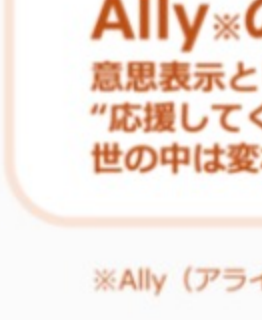


会社の中に相談できる窓口があれば、私も相談していたと思う。直接声を掛けてもらうだけでなく、**Allyステッカーのようなさりげない表現方法で見守ってくださることはありがたい。**



ららさん

【アウトティングでよくある事例】
新しい上司にいきなり声を掛けられた…「聞いてるよ、大丈夫だから」



実際にあったトランスジェンダー男性からの相談。相談者は戸籍も容姿も男性となっていて、周りの方も男性と認識。ただし、救急など不測の事態に備えて信頼できる上司にだけ自分が元女性であることを伝えていた。ところが会社の人事異動で上司が変わり、**新しい上司から赴任した初日に「聞いてるよ、大丈夫だから」「何かいろいろ大変なんだよね?」と言われる。なぜ知っているのか分からず、すごく不安になった。**

屋成さん

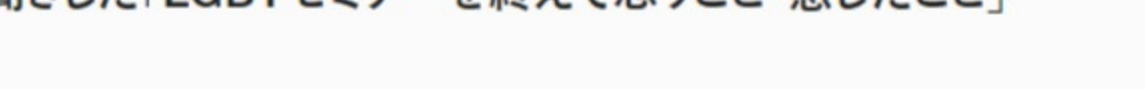
相談者が前の上司と同じように自分のことを話して大丈夫かと考えていた失先のことと、伝えていない他の人たちが疑問の表情になったという。この事象の何が良くないのか、どう対応すればいいかを考えてみてほしい。

個人的にセンシティブな情報を、本人の知らないところで勝手に共有しているのはいかがなものかと思う。

前の上司が他の人に情報共有して良いかどうか、まず本人に確認するべきだと思うし、確認をしていない状態での情報共有は問題があると思う。

「聞いてるよ」という言葉を使っている時点で、特別視している感じがする。

参加者



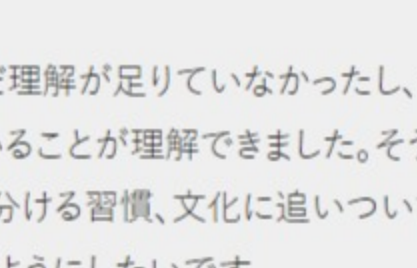
これは本人の同意なしに第三者にセクシュアリティやプライバシーに関わることを暴露する「アウトティング」に該当する行為で、**職場でも「良かれと思って」という勝手な判断でよく起こっている。**まずは本人の意思・意向をしっかり確認する必要がある。

屋成さん

当事者からの言葉だときつかったり、偏っていたりして社会として受け入れにくいところもあると思う。

私は社会を変えていくのはAlly※の方々だと思っている。

意思表示として赤色を付けている人を見付けると、「応援してくださいね」と思ってしまうし、世の中は変わっていくんだと思う。



ららさん

※Ally (アライ) : LGBT当事者に理解・共感を示す支援者。英語で「仲間」「同盟」の意。



みらいさん

セミナーの最後いららさんが述べられたコメントからは、Allyの方々に対する気持ちが伝わってきますね!

参加者にお聞きした「LGBTセミナーを終えて思うこと・感じたこと」

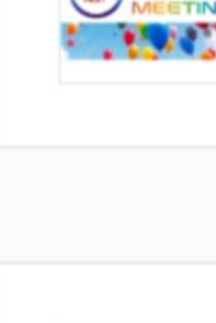
LGBTセミナー終了後、参加者にアンケートをお願いしました。アンケートにお答えいただいた方のご意見・ご感想の中からいくつか紹介いたします。



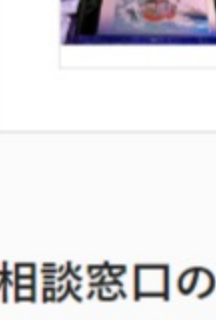
基礎知識はもちろん、当事者を交えたお話で大変理解が深まりました。グループディスカッションも何度もあったため、受動的に情報を得るよりも集中して身をもって理解が深まったと思います。



自分では理解しているつもりだったが、まだまだ理解が足りていなかったし、公共の場でのLGBTの方たちが非常に気に遣っていることが理解できました。そういう時代だと言いつつもまだまだ男女をはっきりと分ける習慣、文化に追いついていけないのであれば、気持ちだけでも理解できるようにしたいです。



当事者の方のお話を聞ける機会はありませんので、人事担当者として大変参考になりました。改めてカミングアウトしなくても働きやすい職場や社会になればならないと感じました。



LGBTの方々には本当に悩まれていると感じました。他人事ではなく自分事に置きかえて、悩まれるような方が少なくなるように、Allyとして微力ながらサポートしていきたいと思いました。

セミナー参加者からは、たくさんのお声・ご感想が寄せられました。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました!



つなくん



みらいさん

LGBTへの理解を深め、当事者の従業員やお客さまへの適切な配慮や接し方を学びながら、一緒にDE&Iの実現を目指していきましょう!

● SGHグループのLGBTに関する取り組み

SGHグループでは、2021年度よりLGBT施策を開始し、現在もさまざまな取り組みを行っています。本年度の主な施策については下記リンク先をご参照ください。

LGBTへの理解を深める取り組み:レインボー・ミーティング開催

「東京レインボープライド2024」参加レポート

相談窓口の案内

性自認、性的指向に関わる働く上でのさまざまな相談に対応する、「LGBTに関する専用の相談窓口」を設置しています。

メール **soudan-sgh@outjapan.co.jp**

※メールで相談内容をお知らせください。相談員から、相談内容に関して回答があります。※相談内容によっては、回答までに時間がかかる場合があります。

★ お気に入り